

「産婦人科の実際」投稿規定

Ⅱ 投稿論文

- 産婦人科に関連する領域の実地臨床に沿った論文で、未発表のものに限ります。
- 他誌へ投稿中の論文はご遠慮ください。

Ⅱ 論文の採否について

- 論文は編集委員会にて査読のうえ、採否決定されます。
- 編集方針に従って、原稿の加筆・削除・改稿をお願いすることがあります。
- 掲載料は原則として無料です。

Ⅱ 論文の種類と文字数

- 論文の種類と文字数の目安は以下のとおりです。
今日の話題：8,000 字 総説：8,000 字 原著：8,000 字
診療：8,000 字 臨床経験：8,000 字 症例：6,000 字
- 文字数には図表、文献、要旨等すべてを含みます。図表はそれぞれ 1 点を 400 字に換算してください。
- 論文の掲載欄は編集委員会で最終決定いたします。

Ⅱ 論文の書き方

- 原稿は平仮名まじりの口語体、新仮名づかいの横書きとしてください。
- 原稿は一般的なアプリケーションで作成し、A4 判のプリントアウト 1 部と、CD-R などのメディアに記録したデジタルデータを同封してください。
- 原稿には表紙をつけ、下記を明記してください。
 - 論文タイトル
 - 希望掲載欄
 - 執筆者名(9 名以内)と執筆者名のローマ字表記
 - 執筆者の所属と肩書
 - 校正者名(住所、番号、E-mail アドレスなど)
- 原稿には 250 字以内の要旨をつけてください。
- 原稿は論文タイトル、希望掲載欄、執筆者名一覧、執筆者所属一覧、校正者名、要旨、本文、文献、図表の順に記載してください。
- 論文中の医学用語の表記は「産科婦人科用語集・用語解説集」(日本産科婦人科学会編)に準拠してください。
- 原則として数字は算用数字、度量衡の単位は cgs 単位を用いてください。
- 英語のつづりは米国式(例：estrogen, gynecology)で外国の人名、地名は原語のままで記載してください。
- 原稿執筆にあたっては、個人情報保護に配慮し、個人が特定できるような記載は避けてください。

Ⅱ 文献について

- 文献引用は、論文に直接関係あるもの 20 編以内にとどめ、末尾に一括して引用した順に掲げてください。
- 著者名は筆頭者のみとし、2 人目からは“ほか”または“et al”としてください。

は“et al”としてください。

- 論文の表題を必ず入れ、次のように記載してください(本文中では引用部位の右肩に文献番号¹⁾²⁾を必ず付けてください)。

- 進 純郎ほか：一絨毛膜性双胎の問題点。産婦の実際 42：203-210, 1993
- 星 和彦ほか：男性不妊，産婦人科学書 I (編：森崇英ほか)，p508-520, 金原出版，1994
- Gilstrap LC et al：The transfer of the nucleoside analog ganciclovir across the perfused human placenta. Am J Obstet Gynecol 170：967-973, 1994
- Nicolaides KH et al：Ultrasonographically detectable marker of fetal chromosomal defects(ed：Neilson JP et al). p41-82, Oxford University Press, 1993

Ⅱ 図表について

- 図(写真を含む)や表は本文中に挿入せず、必ず 1 枚ずつ別紙に添付してください。
- 図表には必ずタイトルを付け、本文中に図表の挿入される位置を明示してください。
- 図表を引用の際は、出典を必ず明記してください。
- 他誌より図表を転載する場合は、出版元の許諾を得てください。

Ⅱ 校正について

- 著者校正は 1 回とします。校正に際しては文章の大幅な書き換え、追加などはご遠慮ください。

Ⅱ 贈呈誌等について

- 論文筆頭者に掲載誌を 1 部ならびに掲載論文の著者閲覧用 PDF を贈呈いたします。別刷の無料贈呈はいたしません。

Ⅱ 著作権について

- 本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版(株)に譲渡されたものとし、これら諸権利の許諾は金原出版(株)が行います。

原稿送付先・お問い合わせ

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

金原出版(株)雑誌部

「産婦人科の実際」編集室

TEL 03-3811-7165・FAX 03-3813-0288

E-mail：sanpu@kanehara-shuppan.co.jp